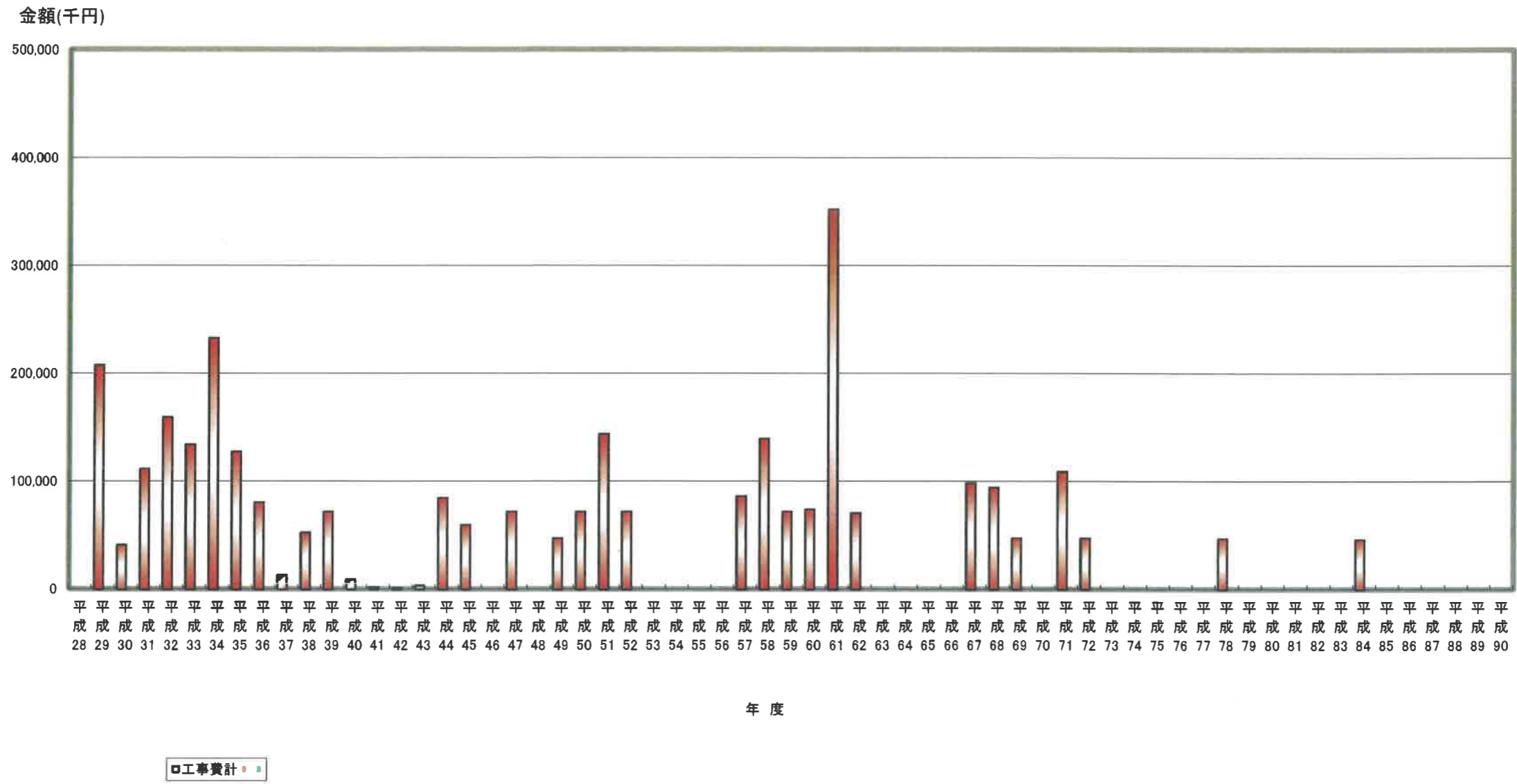


6. <投資試算計画>

6-1. <施設整備計画>

- 1 設置年度、耐用年数、経過年数より、整備優先度を考慮し今後の更新需要を予測。

図6-1 概算事業費の将来見通し(施設)



事業計画表(1/18)

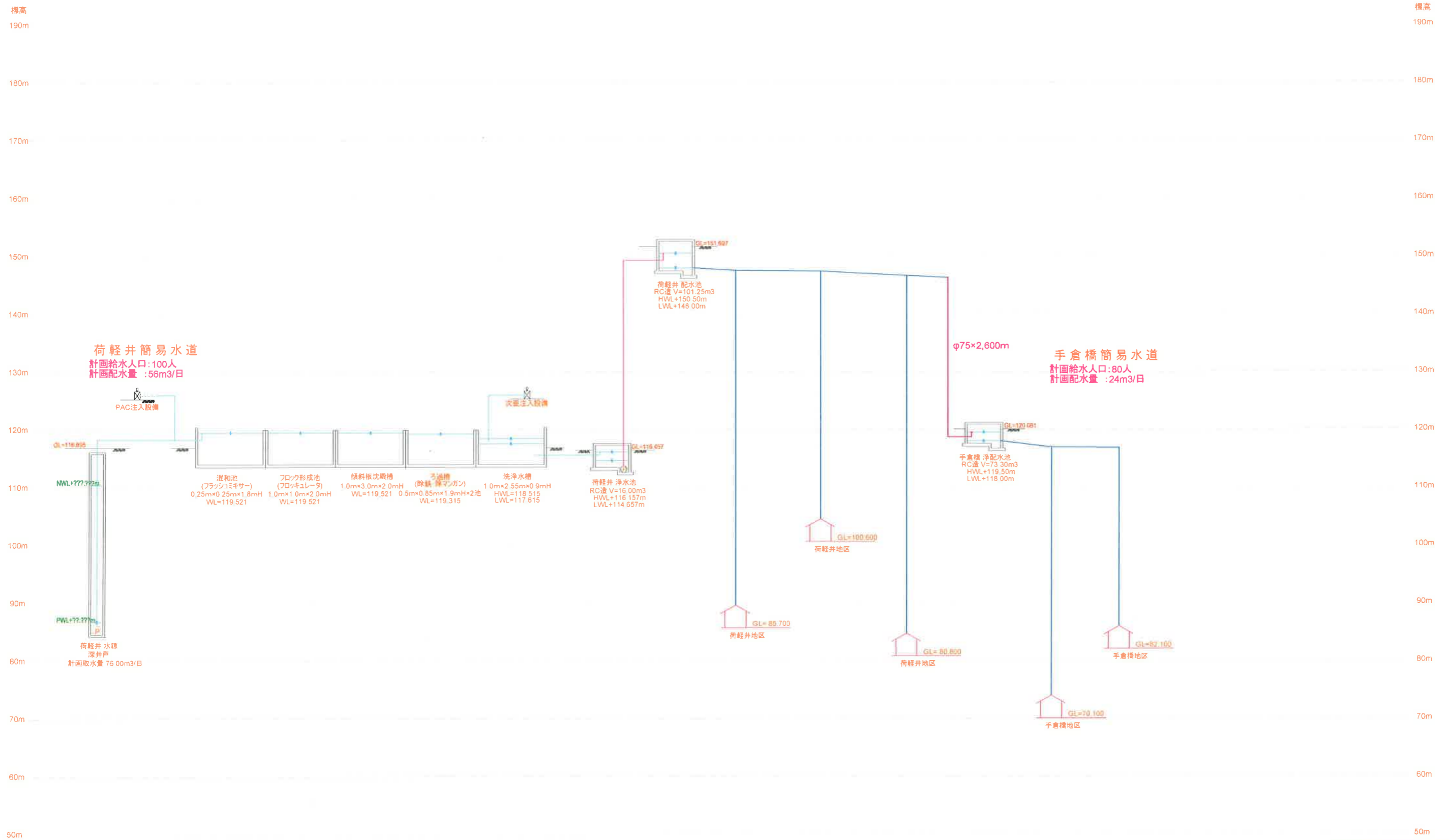
五戸町 簡易水道事業

区分	施設	名称	規模・形状	単位	数量	工事費 (千円)	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40	平成41	平成42	平成43	平成44	平成45	平成46	平成47	平成48	平成49	平成50	平成51	平成52	
		小計				2,200										2,200																
		計				2,200										2,200																
	配水	沼沢 配水場																														
		配水池築造工事	RC造 B4.1m×L3.5m×H2.6m(有効水深2.5m)、有効容量71.75m ³	池	1	18,100																										
		場内配管工事	送水、配水、排水	式	1	8,400																										
		場内造成整備工事	場内造成、舗装、柵等	式	1	20,900																										
		小計				47,400																										
		計				47,400																										
		合計				202,400										12,500																
工事費計						3,083,000	207,700	41,000	111,600	159,700	134,200	232,800	127,600	80,500	12,500	52,500	72,000	8,400	2,000	1,200	3,300	84,500	59,700		72,000		47,500	72,000	144,000	72,000		

2 H26基本計画を踏襲し、施設統合整備案及び概算事業費の算定。

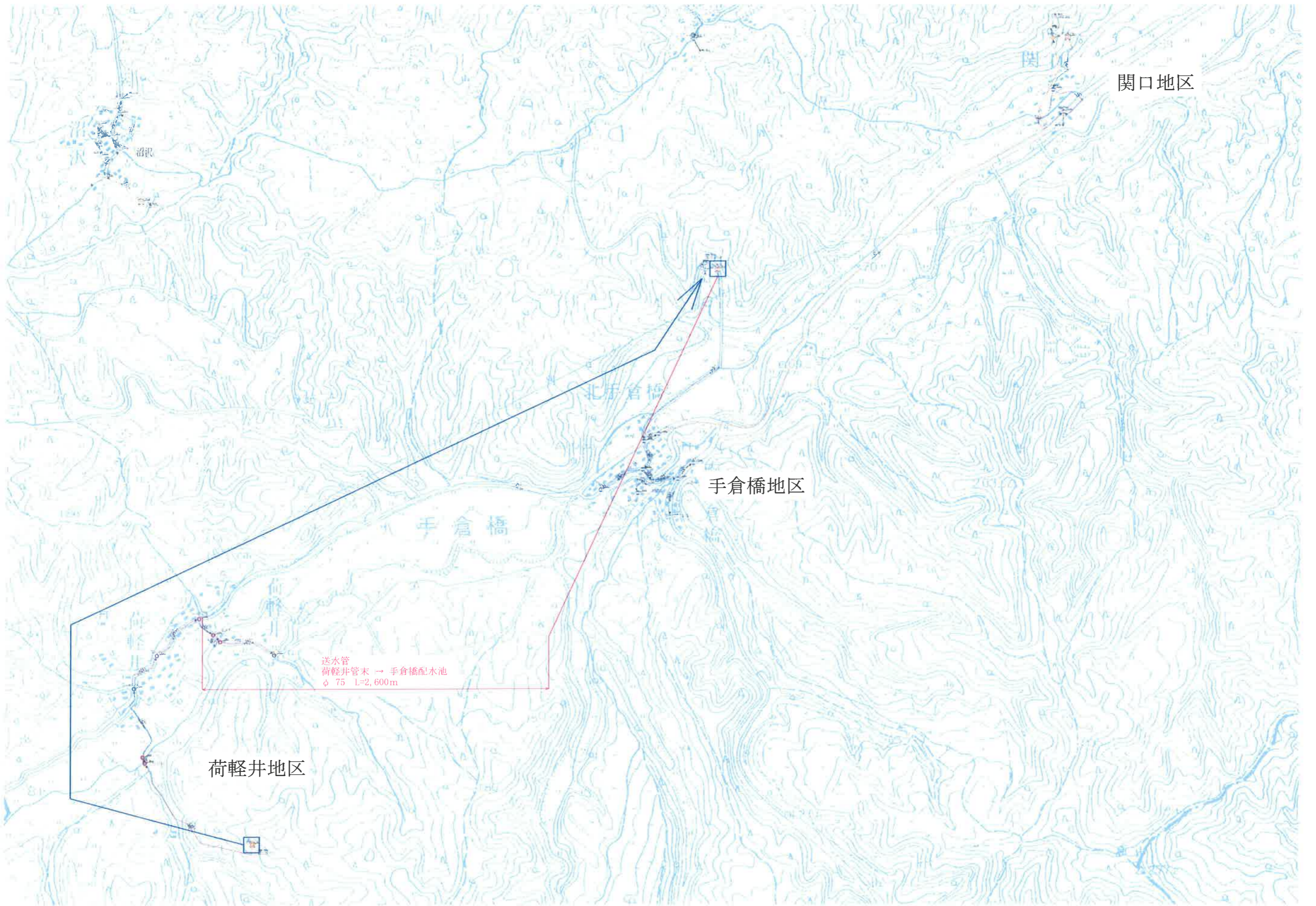
項目		第1案	
計画施設概要		荷軽井地区管末から手倉橋配水池に配水管を延伸する。	
計画給水人口		荷軽井	100人
		手倉橋	80人
		計	180人
計画給水量		荷軽井	56m ³ /日
		手倉橋	24m ³ /日
		計	80m ³ /日
施設 計画	取水	水質	荷軽井 良好 手倉橋 鉄・マンガン 荷軽井水源を採用。
		取水量	荷軽井水源 適正揚水量 109m ³ /日 > 89m ³ /日 (浄水ロス含)
	導水	—	
	浄水	荷軽井	急速
		手倉橋	急速
	送水	—	
	配水	荷軽井	配水池容量 = 計画一日最大給水量の22時間分 + 送水量1時間分 + 消火用1栓1時間放水量 = 56 × 22/24 + 24 × 1/24 + 30 = 82m ³ < 101m ³ (既設荷軽井配水池容量)
手倉橋		配水池容量 = 計画一日最大給水量の24時間分 + 送水量1時間分 + 消火用1栓1時間放水量 = 24 × 24/24 + 14 × 1/24 + 30 = 55m ³ < 73m ³ (既設手倉橋配水池容量)	
整備内容	送水管	荷軽井管末→手倉橋配水池 φ75×2,600m	
利点		<ul style="list-style-type: none"> ・荷軽井地区の良質な水を他地区へ供給できる。 ・手倉橋地区の取水, 浄水施設を削減できる。 ・既設配水池を圧力調整機能として利用できる。 	
欠点		<ul style="list-style-type: none"> ・既設配水池までの送水管延伸が必要。 ・配水池地点における送水管布設の施工が困難である。 ・取水～送水までの各施設規模が基準値より不足するため、増設に莫大な事業費を要する。 ・延伸管事業費が割高となる。 	
評価		<p>以上より、全ての施設において現基準では不足が生じるため、統合は不利である。</p> <p>しかしながら、不明確であった既設配水池レベルを測量し、正確な地盤高が把握できたため、地理的・地形的条件のみで水理計算を行い、配水可能かどうか検討を行った。</p> <p>よって、あくまでも叩き台としての参考価格である。</p>	

水位高低図



- 凡例
- 導水管 (Green line)
 - 送水管 (Red line)
 - 配水管 (Blue line)

事業名		図面番号	
水位高低図		縮尺	FREE
		事業主	五戸町
設計	株式会社日本水産設計社	作成	年月日

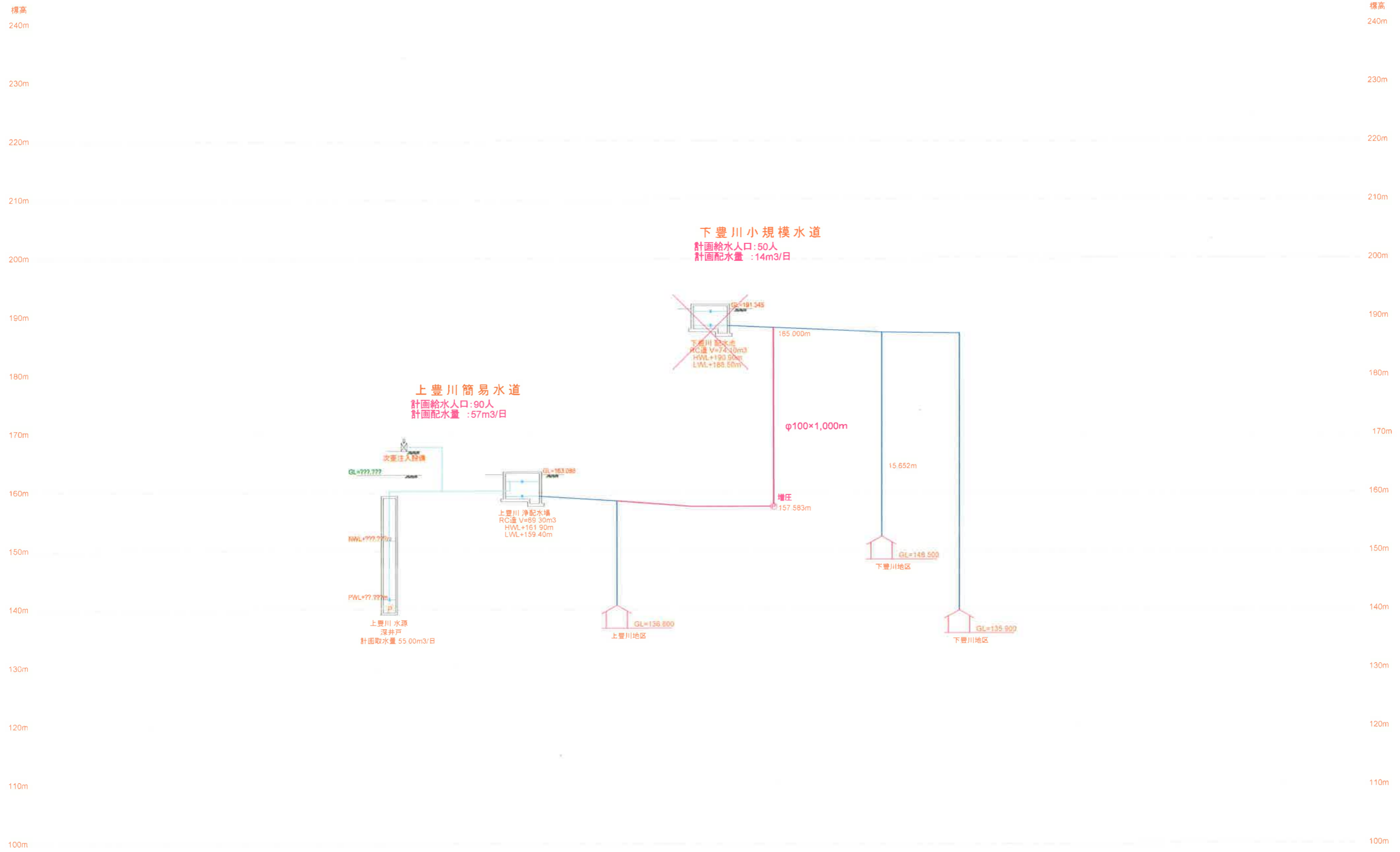


第1案 統合簡易水道事業整備案（荷軽井・手倉橋地区）

区分	施設	名称	規模・形状			単位	数量	工事費 (千円)	
荷軽井 手倉橋 関口	取水								
	合計								
	導水								
	合計								
	浄水								
	合計								
	送水		送水管布設工事	1-01	DIP. NS φ 75	荷軽井地区 ~手倉橋配水池	m	2,600	83,100
	合計							83,100	
	配水								
	合計								
工事費計							83,100		

項目		第2案		
計画施設概要		上豊川地区から下豊川地区に配水管を延伸する。		
計画給水人口		上豊川	90人	
		下豊川	50人	
		計	140人	
計画給水量		上豊川	57m ³ /日	
		下豊川	14m ³ /日	
		計	71m ³ /日	
施設 計画	取水	水質	上豊川 良好 下豊川 鉄・マンガン 上豊川水源を採用。	
		取水量	上豊川水源 適正揚水量 216m ³ /日 > 71m ³ /日	
	導水		—	
	浄水		上豊川 滅菌 下豊川 急速	
	送水		—	
	配水		配水池容量 = 計画一日最大給水量の22時間分 + 送水量1時間分 + 消火用1栓1時間放水量 = 71 × 22/24 + 0 + 30 = 95m ³ > 69m ³ (既設上豊川配水池容量)	
	整備内容	配水管	上豊川管末→下豊川管末 φ100×1,000m	
		増圧	1箇所	
利点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上豊川地区の良質な水を他地区へ供給できる。 ・ 下豊川地区の取水, 浄水, 配水施設を削減できる。 		
欠点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災時、下豊川地区において負圧となってしまう。 ・ 取水～配水までの各施設規模が基準値より不足するため、増設に莫大な事業費を要する。 ・ 延伸管事業費が割高となる。 ・ 増圧ポンプの設置により、電気代が割高となる。 		
評価		<p>以上より、全ての施設において現基準では不足が生じるため、統合は不利である。</p> <p>しかしながら、不明確であった既設配水池レベルを測量し、正確な地盤高が把握できたため、地理的・地形的条件のみで水理計算を行い、配水可能かどうか検討を行った。</p> <p>よって、あくまでも叩き台としての参考価格である。</p>		

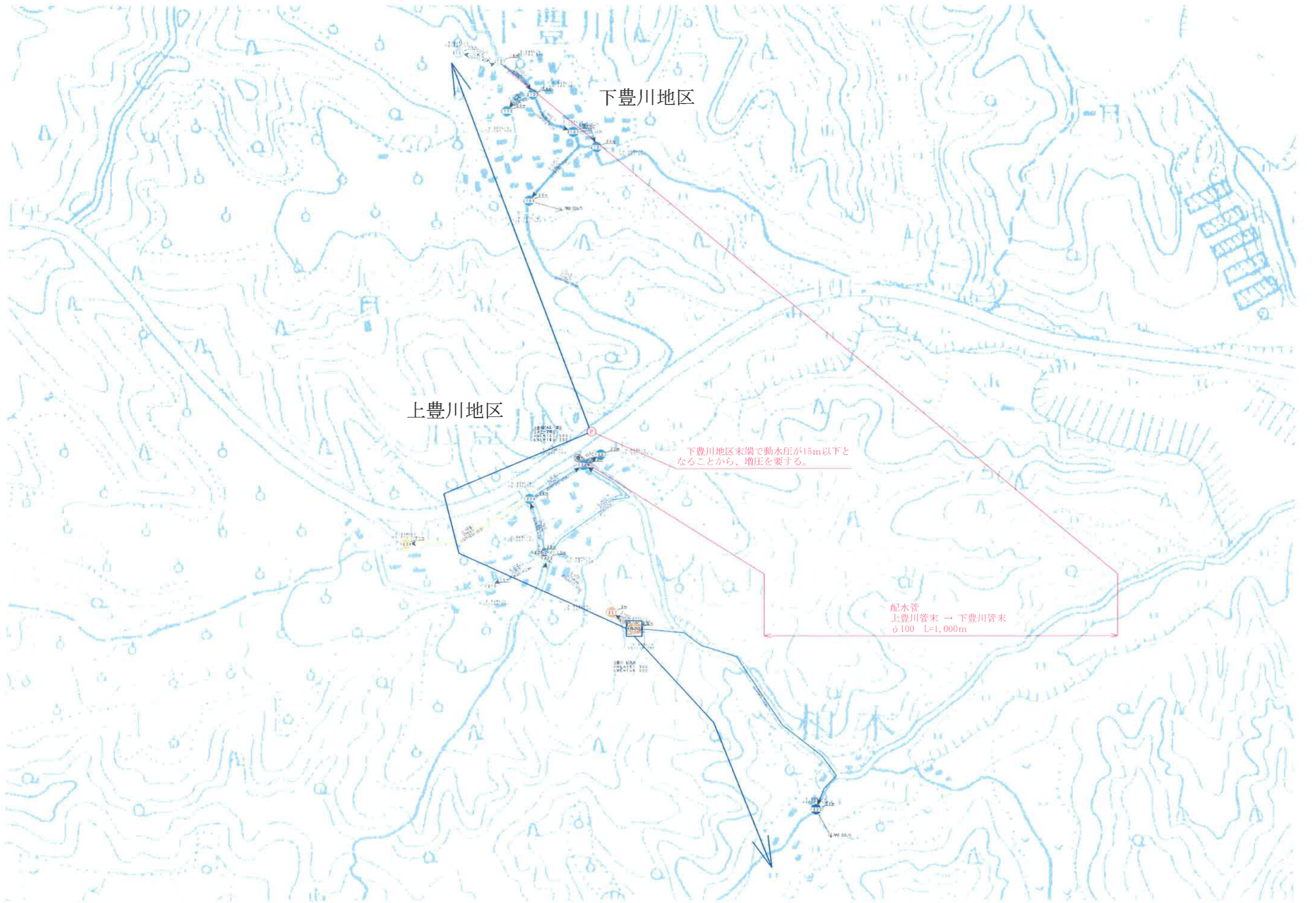
水位高低図



凡例

導水管	
送水管	
配水管	

事業名		図面番号	
水位高低図		縮尺	FREE
		事業主	五戸町
設計	株式会社日本水道設計社	年度	年月日



第2案 統合簡易水道事業整備案（上豊川・下豊川地区）

区分	施設	名称	規模・形状		単位	数量	工事費 (千円)		
上豊川 下豊川	取水								
	合計								
	導水								
	合計								
	浄水								
	合計								
	送水								
	合計								
	配水		配水管布設工事	1-01	DIP. NS φ 100	上豊川地区 ~下豊川地区	m	1,000	39,100
			加圧ポンプ新設工事	2-01			式	1	17,300
		合計						56,400	
工事費計							56,400		

6-2. <管路更新計画>

非耐震管の耐震性向上に伴う、管路更新計画

1 目的

水道は快適な市民生活や都市生活を営む上で欠くことのできない重要なインフラ施設であり、安全で安心できる水の持続的な供給を確保するため、また地震等の災時においても可能な限り給水を維持するため、水道施設の耐震化について、早急な取り組みが必要である。

よって本計画は、上水道区域の重要配水本管についての耐震化を計画するものであり、本町における今後の水道管路耐震化のための効果的な対策の推進に資することを目的とするものである。

2 管路が備えるべき耐震性能

基幹管路、配水支管について、施設基準に基づき、備えるべき耐震性能を整理すると下記表のようになる。

よって、本計画は基幹管路(配水本管)であるため、耐震性能はレベル2地震動に適合した管種を選定する。

重要度 (機能)	レベル1地震動	レベル2地震動
	当該施設の設置地点において発生するものと想定される地震動のうち、当該施設の供用期間中に発生する可能性の高いもの	当該施設の設置地点において発生するものと想定される地震動のうち、最大規模の強さを有するもの
基幹管路 (導水管) (送水管) (配水本管)	当該管路の健全な機能をそこなわない。 (設計能力を損なわない)	生ずる損傷が軽微であって、当該管路の機能に重大な影響を及ぼさない。 (一定の機能低下を来したとしても、速やかに機能が回復できる)
配水支管	生ずる損傷が軽微であって、当該管路の機能に重大な影響を及ぼさない。 (一定の機能低下を来したとしても、速やかに機能が回復できる)	—

3 管路の耐震適合性評価

管種・継手別の耐震適合性を下記表に示す。(平成18年度検討会報告書より)

よって、レベル2地震動に適合する管種は、ダクタイル鋳鉄管(GX継手)と、よい地盤でのダクタイル鋳鉄管(K形継手)である。なお、鋼管(溶接継手)は埋設管路では、施工が困難であるため、本計画では除外する。

管種・継手	配水支管が備えるべき耐震性能		基幹管路が備えるべき耐震性能	
	レベル1地震動に対して、生ずる損傷が軽微であって、機能に重大な影響を及ぼさないこと	レベル1地震動に対して、健全な機能を損なわないこと	レベル1地震動に対して、生ずる損傷が軽微であって、機能に重大な影響を及ぼさないこと	レベル2地震動に対して、生ずる損傷が軽微であって、機能に重大な影響を及ぼさないこと
ダクタイル鋳鉄管 (NS形継手等)	○	○	○	○
〃 (K形継手等)	○	○	○	注1
〃 (A形継手等)	○	△	△	×
鋳鉄管	×	×	×	×
鋼管(溶接継手)	○	○	○	○
配水用ポリエチレン管 (融着継手)注2	○	○	○	注3
水道用ポリエチレン二層管 (冷間継手)	○	△	△	×
硬質塩化ビニル管 (RRロング継手)注4	○	注5		
〃 (RR継手)	○	△	△	×
〃 (TS継手)	×	×	×	×
石綿セメント管	×	×	×	×

注) 管種・継手は、厚生労働省「管路の耐震化に関する検討会報告書(平成19年3月)」を参照した。

注1) ダクタイル鋳鉄管(K形継手等)は、埋立地など悪い地盤において一部被害は見られたが、岩盤・洪積層などにおいて、低い被害率を示していることから、よい地盤においては、基幹管路が備えるべきレベル2地震動に対する耐震性能を満たすものと整理することができる。

注2) 水道配水用ポリエチレン管(融着継手)の使用期間が短く、被災経験が十分でないことから、十分に耐震性能が検証されるには、なお時間を要すると考えられる。

注3) 水道配水用ポリエチレン管(融着継手)は良い地盤におけるレベル2地震(新潟県中越地震)で被害がなかった(フランジ継手部においては被害があった)が、布設延長が十分に長いとは言えないこと、悪い地盤における被災経験がないことから、耐震性能が検証されるには、なお時間を要すると考えられる。

注4) 硬質塩化ビニル管(RRロング継手)は、RR継手よりも継手伸縮性能が優れているが、使用期間が短く、被災経験もほとんどないことから、十分に耐震性能が検証されるには、なお時間を要すると考えられる。

注5) 硬質塩化ビニル管(RRロング継手)の基幹管路が備えるべき耐震性能を判断する被災経験はない。

※ 注を付してあるものも、各水道事業者の判断により採用することは可能である。

備考)

○ : 耐震適合性あり

× : 耐震適合性なし

△ : 被害率が比較的に低いが、明確に耐震適合性ありとし難いもの

※出典：水道施設耐震化の課題と方策 平成20年12月16日 日本水道協会 震災対応等特別調査委員会

NS継手等：GX、NS、S、SII

4 耐震化計画

管種選定については、先に述べたレベル2地震動に適合した、ダクタイル鋳鉄管(GX継手)を採用する。

Aランク:重要給水拠点、重要幹線 (至急実施すべき)

→GX管

Bランク:主要路線 (できるだけ早く実施した方がよい)

→更新時に要検討

Cランク:布設替必要性が薄い路線 (必要性は認めるが急がなくてよい)

→更新の必要性を要検討

基本諸元

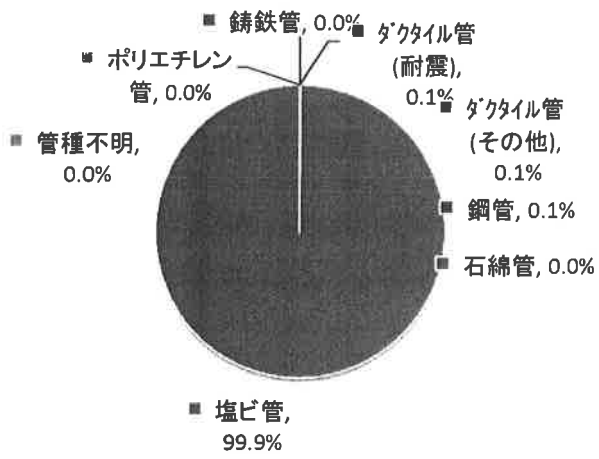
1	業務目的 本業務は、五戸町簡易水道事業において、老朽化した鑄鉄管、塩ビ管、ポリ管等の調査・更新を行い、水道施設管路の耐震性の向上と有効率の向上を図ることを目的とする。
2	対象とする管路は、H28～H38(基本計画目標年度)の11年間に、対応となりうる管路とする。
3	対象は配水管とする。
4	布設年度不明管は、創設時埋設とします。(S61に設定)
5	布設年度の古いものから更新対象とする。
6	優先順位 順1位 VP 順2位 PP 順3位 DIP(K,A),CIP(T)
7	新設管 管種・口径 φ75～φ200 DIP.GXとする。
8	法定耐用年数は40年であるが、更新基準を法定耐用年数の1.5倍以下とすると、資産が老朽化する前に更新を行うこととなるため、健全資産のみで推移します。 (出典:アセットマネジメントマニュアルより) よって更新基準は、重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍=40年×1.5=60年とします。
9	総延長 53,817 m 全体 管路延長 (出典:当社 管路台帳より)
10	概算事業費 m当り単価(直工) 右表参照 2,271,000 (千円)
11	本表は平成27年度(平成28年3月末)現在とする。

口径	m当り単価 直工
φ500	
φ450	
φ400	
φ350	51,100
φ300	47,700
φ250	43,100
φ200	37,700
φ150	32,400
φ100	26,600
φ75	23,800

単位:(m)

施設区分	総延長	鑄鉄管	ダクタイル管 耐震型継 手を有す るもの	ダクタイル管 その他	鋼管	石綿管	塩ビ管	ポリエチレ ン管	管種不明
導水管	111	0	0	0	61	0	50	0	0
送水管	6,321	0	0	0	0	0	6,321	0	0
配水管	55,743	2	0	22	0	0	55,719	0	0
計	62,175	2	0	22	61	0	62,090	0	0
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	99.9%	0.0%	0.0%

※出典:平成26年度版 青森県の水道



全体 管路延長

管径(mm)	延長(m)	管種
75	549	DIP
100	0	DIP
150	291	DIP
200	0	DIP
小計	840	
20	196	VP
25	0	VP
30	581	VP
40	325	VP
50	1,002	VP
75	17,533	VP
100	19,047	VP
150	13,239	VP
200	306	VP
小計	52,231	
50	0	SP
75	175	SP
100	127	SP
150	68	SP
200	0	SP
小計	371	
50	0	GP
75	0	GP
100	35	GP
150	0	GP
200	0	GP
小計	35	
30	149	PP
40	85	PP
50	0	PP
75	0	PP
100	0	PP
150	0	PP
200	0	PP
小計	234	
50	0	管種不明
75	57	管種不明
100	50	管種不明
150	0	管種不明
200	0	管種不明
小計	107	
計	53,817	

・重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍
 =40年×1.5=60年とします
 ・布設年度不明管は、創設時埋設とします

管径(mm)	延長(m)	管種
75	549	DIP
100	0	DIP
150	291	DIP
200	0	DIP
250	0	DIP
300	0	DIP
350	0	DIP
小計	840	
計	840	

年号	西暦	50	75	80	100	150	200	250	300	350	計	
S 41 ~ S 50	1966 ~ 1975	0									0	
	1966	0									0	
	1967	0									0	
	1968	0									0	
	1969	0									0	
	1970	0									0	
	1971	0									0	
	1972	0									0	
	1973	0									0	
	1974	0									0	
	1975	0									0	
S 51 ~ S 60	1976 ~ 1985	55									0	
	1976	0									0	
	1977	0									0	
	1978	0									0	
	1979	0									0	
	1980	0									0	
	1981	0									0	
	1982	0									0	
	1983	0									0	
	1984	0									0	
	1985	55									55	
S 61 ~ H 7	1986 ~ 1995	0									0	
	1986	0									0	
	1987	0									0	
	1988	0									0	
	1989	0									0	
	1990	0									0	
	1991	0									0	
	1992	0									0	
	1993	0									0	
	1994	0									0	
	1995	0									0	
H 8 ~ H 17	1996 ~ 2005	756									0	
	1996	0									0	
	1997	262									262	
	1998	0									0	
	1999	0									0	
	2000	0									0	
	2001	0									0	
	2002	0									0	
	2003	0									0	
	2004	0									0	
	2005	494									494	
H 18 ~ H 27	2006 ~ 2015	0									0	
	2006	0									0	
	2007	0									0	
	2008	0									0	
	2009	0									0	
	2010	0									0	
	2011	0									0	
	2012	0									0	
	2013	0									0	
	2014	0									0	
	2015	0									0	
布設年度不明	1900	29									29	
計		840	0	549	0	0	291	0	0	0	0	840

年号	西暦	2026 ~ 2035	計
H 38 ~ H 47	2026 ~ 2035	0	0
	38 2026	0	0
	39 2027	0	0
	40 2028	0	0
	41 2029	0	0
	42 2030	0	0
	43 2031	0	0
	44 2032	0	0
	45 2033	0	0
	46 2034	0	0
	47 2035	0	0
H 48 ~ H 57	2036 ~ 2045	55	55
	48 2036	0	0
	49 2037	0	0
	50 2038	0	0
	51 2039	0	0
	52 2040	0	0
	53 2041	0	0
	54 2042	0	0
	55 2043	0	0
	56 2044	0	0
	57 2045	55	55
H 58 ~ H 67	2046 ~ 2055	29	29
	58 2046	29	29
	59 2047	0	0
	60 2048	0	0
	61 2049	0	0
	62 2050	0	0
	63 2051	0	0
	64 2052	0	0
	65 2053	0	0
	66 2054	0	0
	67 2055	0	0
H 68 ~ H 77	2056 ~ 2065	756	756
	68 2056	0	0
	69 2057	262	262
	70 2058	0	0
	71 2059	0	0
	72 2060	0	0
	73 2061	0	0
	74 2062	0	0
	75 2063	0	0
	76 2064	0	0
	77 2065	494	494
H 78 ~ H 87	2066 ~ 2075	0	0
	78 2066	0	0
	79 2067	0	0
	80 2068	0	0
	81 2069	0	0
	82 2070	0	0
	83 2071	0	0
	84 2072	0	0
	85 2073	0	0
	86 2074	0	0
	87 2075	0	0
計		840	840

・重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍=40年
 ×1.5=60年とします
 ・布設年度不明管は、創設時埋設とします

管径(mm)	延長(m)	管種
50	0	SP
75	175	SP
100	127	SP
150	68	SP
200	0	SP
250	0	SP
300	0	SP
350	0	SP
小計	371	
計	371	

年号	西暦	50	75	80	100	150	200	250	300	350	計	
S 41 ~ S 50	1966 ~ 1975	0									0	
	1966	0									0	
	1967	0									0	
	1968	0									0	
	1969	0									0	
	1970	0									0	
	1971	0									0	
	1972	0									0	
	1973	0									0	
	1974	0									0	
	1975	0									0	
S 51 ~ S 60	1976 ~ 1985	29									0	
	1976	0									0	
	1977	0									0	
	1978	0									0	
	1979	0									0	
	1980	0									0	
	1981	0									0	
	1982	0									0	
	1983	0									0	
	1984	0									0	
	1985	29	29		0						29	
S 61 ~ H 7	1986 ~ 1995	0									0	
	1986	0	28								28	
	1987	0									0	
	1988	0									0	
	1989	0									0	
	1990	0									0	
	1991	0									0	
	1992	0									0	
	1993	0									0	
	1994	0									0	
	1995	0									0	
H 8 ~ H 17	1996 ~ 2005	314									0	
	1996	0									0	
	1997	0									0	
	1998	0									0	
	1999	0									0	
	2000	56	34			22					56	
	2001	40			40						40	
	2002	218	84		87	46					218	
	2003	0									0	
	2004	0									0	
	2005	0									0	
H 18 ~ H 27	2006 ~ 2015	0									0	
	2006	0									0	
	2007	0									0	
	2008	0									0	
	2009	0									0	
	2010	0									0	
	2011	0									0	
	2012	0									0	
	2013	0									0	
	2014	0									0	
	2015	0									0	
布設年度不明	1900	28									28	
計		371	0	175	0	127	68	0	0	0	0	371

年号	西暦	計
H 38 ~ H 47	2026 ~ 2035	0
	H 38 2026	0
	39 2027	0
	40 2028	0
	41 2029	0
	42 2030	0
	43 2031	0
	44 2032	0
	45 2033	0
	46 2034	0
	47 2035	0
H 48 ~ H 57	2036 ~ 2045	29
	48 2036	0
	49 2037	0
	50 2038	0
	51 2039	0
	52 2040	0
	53 2041	0
	54 2042	0
	55 2043	0
	56 2044	0
	57 2045	29
H 58 ~ H 67	2046 ~ 2055	28
	58 2046	28
	59 2047	0
	60 2048	0
	61 2049	0
	62 2050	0
	63 2051	0
	64 2052	0
	65 2053	0
	66 2054	0
	67 2055	0
H 68 ~ H 77	2056 ~ 2065	314
	68 2056	0
	69 2057	0
	70 2058	0
	71 2059	0
	72 2060	56
	73 2061	40
	74 2062	218
	75 2063	0
	76 2064	0
	77 2065	0
H 78 ~ H 87	2066 ~ 2075	0
	78 2066	0
	79 2067	0
	80 2068	0
	81 2069	0
	82 2070	0
	83 2071	0
	84 2072	0
	85 2073	0
	86 2074	0
	87 2075	0
計		371

・重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍=40年×1.5=60年とします
 ・布設年度不明管は、創設時埋設とします

管径(mm)	延長(m)	管種
50	0	GP
75	0	GP
100	35	GP
150	0	GP
200	0	GP
250	0	GP
300	0	GP
350	0	GP
小計	35	
計	35	

年号	西暦	50	75	80	100	150	200	250	300	350	計
S 41 ~ S 50	1966 ~ 1975	0									0
	1966	0									
	1967	0									
	1968	0									
	1969	0									
	1970	0									
	1971	0									
	1972	0									
	1973	0									
	1974	0									
	1975	0									
S 51 ~ S 60	1976 ~ 1985	0									0
	1976	0									
	1977	0									
	1978	0									
	1979	0									
	1980	0									
	1981	0									
	1982	0									
	1983	0									
	1984	0									
	1985	0									
S 61 ~ H 7	1986 ~ 1995	0									0
	1986	0									
	1987	0									
	1988	0									
	1989	0									
	1990	0									
	1991	0									
	1992	0									
	1993	0									
	1994	0									
	1995	0									
H 8 ~ H 17	1996 ~ 2005	0									0
	1996	0									
	1997	0									
	1998	0									
	1999	0									
	2000	0									
	2001	0									
	2002	0									
	2003	0									
	2004	0									
	2005	0									
H 18 ~ H 27	2006 ~ 2015	0									0
	2006	0									
	2007	0									
	2008	0									
	2009	0									
	2010	0									
	2011	0									
	2012	0									
	2013	0									
	2014	0									
	2015	0									
布設年度不明	1900	35									35
計		35	0	0	0	35	0	0	0	0	35

年号	西暦	計
H 38 ~ H 47	2026 ~ 2035	0
	H 38 2026	0
	39 2027	0
	40 2028	0
	41 2029	0
	42 2030	0
	43 2031	0
	44 2032	0
	45 2033	0
	46 2034	0
	47 2035	0
H 48 ~ H 57	2036 ~ 2045	0
	48 2036	0
	49 2037	0
	50 2038	0
	51 2039	0
	52 2040	0
	53 2041	0
	54 2042	0
	55 2043	0
	56 2044	0
	57 2045	0
H 58 ~ H 67	2046 ~ 2055	35
	58 2046	35
	59 2047	0
	60 2048	0
	61 2049	0
	62 2050	0
	63 2051	0
	64 2052	0
	65 2053	0
	66 2054	0
	67 2055	0
H 68 ~ H 77	2056 ~ 2065	0
	68 2056	0
	69 2057	0
	70 2058	0
	71 2059	0
	72 2060	0
	73 2061	0
	74 2062	0
	75 2063	0
	76 2064	0
	77 2065	0
H 78 ~ H 87	2066 ~ 2075	0
	78 2066	0
	79 2067	0
	80 2068	0
	81 2069	0
	82 2070	0
	83 2071	0
	84 2072	0
	85 2073	0
	86 2074	0
	87 2075	0
計		35

・重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍=40年×1.5=60年とします
 ・布設年度不明管は、創設時埋設とします

管径(mm)	延長(m)	管種
30	149	PP
40	85	PP
50	0	PP
75	0	PP
100	0	PP
150	0	PP
200	0	PP
250	0	PP
300	0	PP
350	0	PP
小計	234	
計	234	

年号	西暦	20	25	30	40	50	75	80	100	150	200	250	300	350	計
S 41 ~ S 50	1966 ~ 1975	0													0
	1966	0													
	1967	0													
	1968	0													
	1969	0													
	1970	0													
	1971	0													
	1972	0													
	1973	0													
	1974	0													
	1975	0													
S 51 ~ S 60	1976 ~ 1985	0													0
	1976	0													
	1977	0													
	1978	0													
	1979	0													
	1980	0													
	1981	0													
	1982	0													
	1983	0													
	1984	0													
	1985	0													
S 61 ~ H 7	1986 ~ 1995	0													0
	1986	0													
	1987	0													
	1988	0													
	1989	0													
	1990	0													
	1991	0													
	1992	0													
	1993	0													
	1994	0													
	1995	0													
H 8 ~ H 17	1996 ~ 2005	234													0
	1996	0													
	1997	0													
	1998	0													
	1999	0													
	2000	234													
	2001	0													
	2002	0													
	2003	0													
	2004	0													
	2005	0													
H 18 ~ H 27	2006 ~ 2015	0													0
	2006	0													
	2007	0													
	2008	0													
	2009	0													
	2010	0													
	2011	0													
	2012	0													
	2013	0													
	2014	0													
	2015	0													
布設年度不明	1900	0													
計		234	0	0	149	85	0	0	0	0	0	0	0	0	234

年号	西暦	計
H 38 ~ H 47	2026 ~ 2035	0
H 38	2026	0
H 39	2027	0
H 40	2028	0
H 41	2029	0
H 42	2030	0
H 43	2031	0
H 44	2032	0
H 45	2033	0
H 46	2034	0
H 47	2035	0
H 48 ~ H 57	2036 ~ 2045	0
H 48	2036	0
H 49	2037	0
H 50	2038	0
H 51	2039	0
H 52	2040	0
H 53	2041	0
H 54	2042	0
H 55	2043	0
H 56	2044	0
H 57	2045	0
H 58 ~ H 67	2046 ~ 2055	0
H 58	2046	0
H 59	2047	0
H 60	2048	0
H 61	2049	0
H 62	2050	0
H 63	2051	0
H 64	2052	0
H 65	2053	0
H 66	2054	0
H 67	2055	0
H 68 ~ H 77	2056 ~ 2065	234
H 68	2056	0
H 69	2057	0
H 70	2058	0
H 71	2059	0
H 72	2060	234
H 73	2061	0
H 74	2062	0
H 75	2063	0
H 76	2064	0
H 77	2065	0
H 78 ~ H 87	2066 ~ 2075	0
H 78	2066	0
H 79	2067	0
H 80	2068	0
H 81	2069	0
H 82	2070	0
H 83	2071	0
H 84	2072	0
H 85	2073	0
H 86	2074	0
H 87	2075	0
計		234

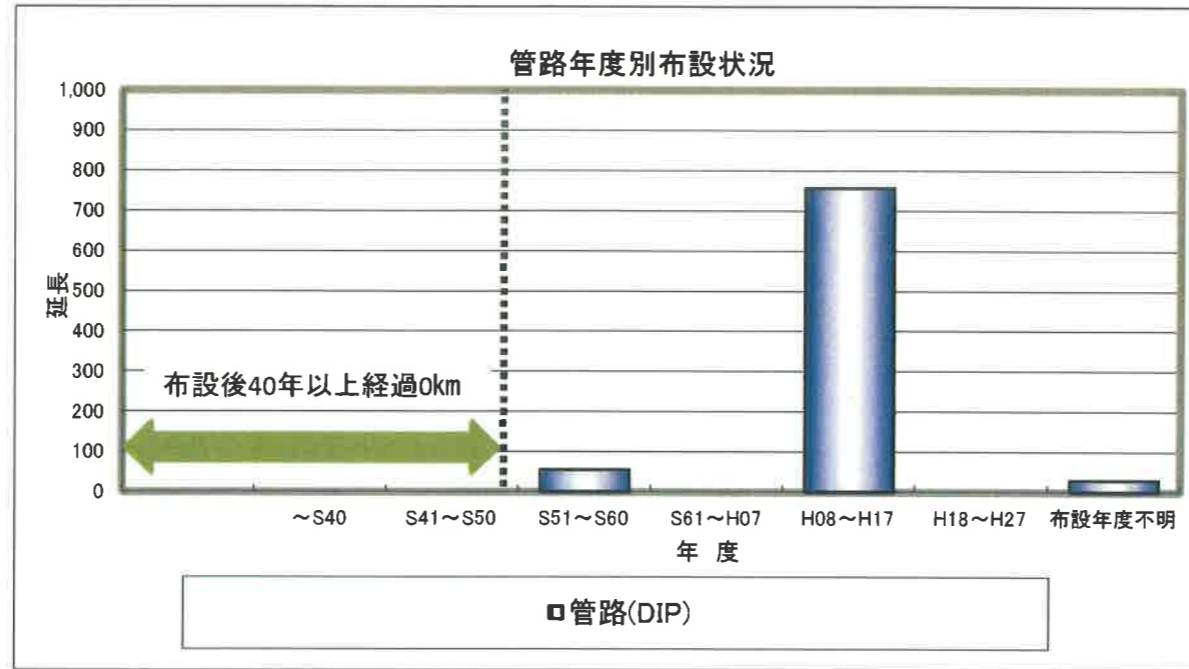
234

現況管路状況

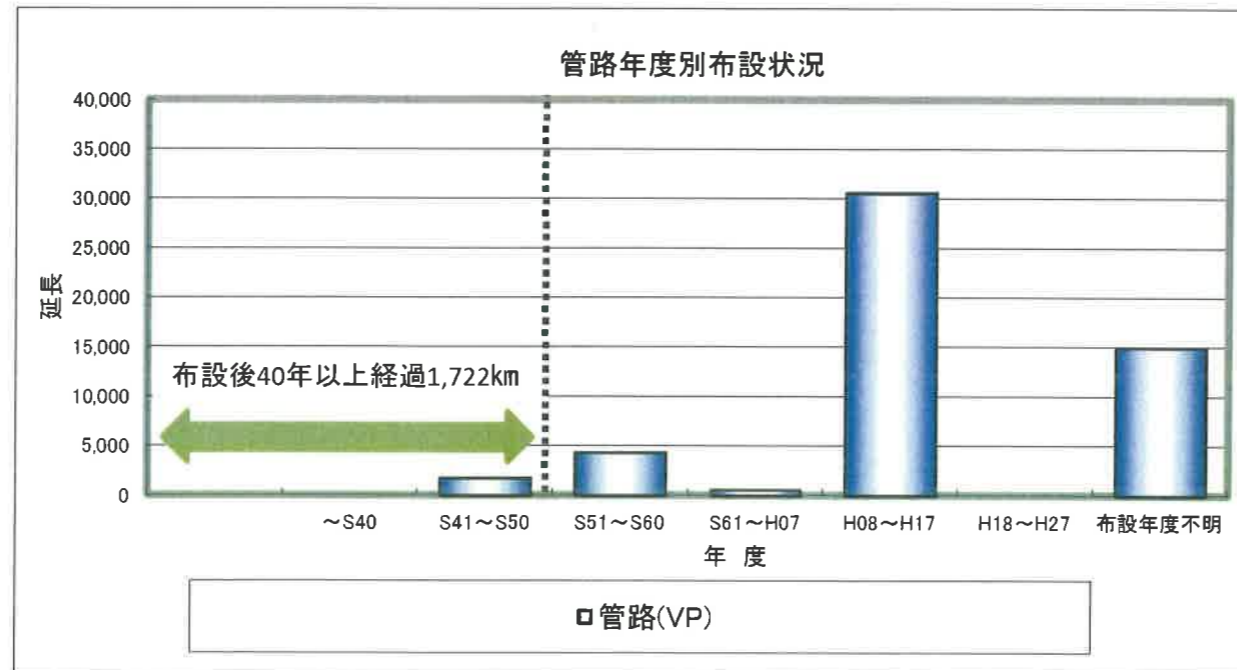
法定耐用年数40年を考慮し、現在平成28年度より40年前である昭和51年以前に布設している管路を確認。

40年以上経過している管路は下記の通り。

管路年度別布設状況(DIP)									
年度		～S40	S41～S50	S51～S60	S61～H07	H08～H17	H18～H27	布設年度不明	合計
延長		0	0	55	0	756	0	29	840

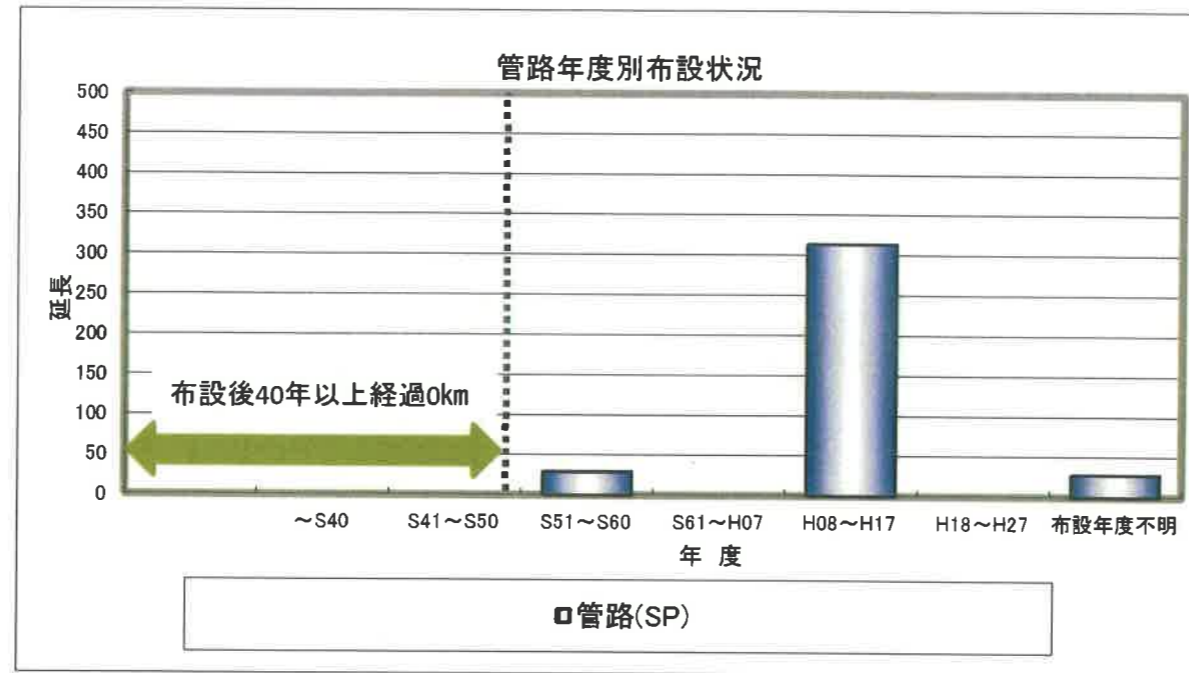


管路年度別布設状況(VP)									
年度		～S40	S41～S50	S51～S60	S61～H07	H08～H17	H18～H27	布設年度不明	合計
延長		0	1,722	4,319	603	30,590	0	14,996	52,231



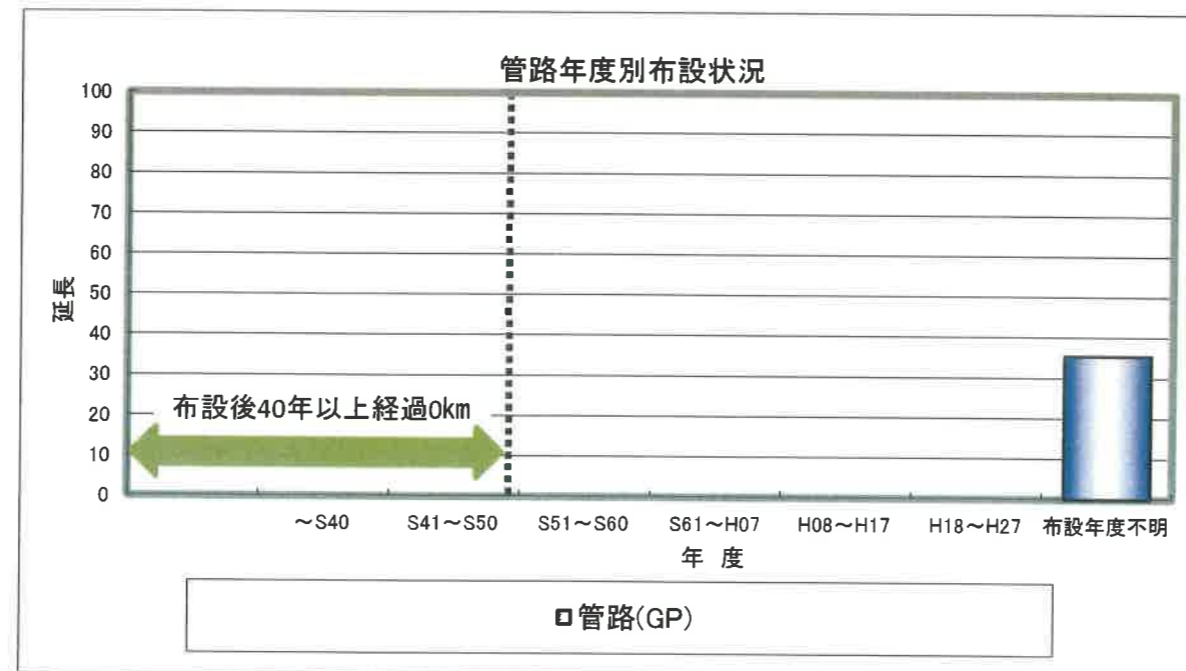
管路年度別布設状況(SP)

年度	~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	布設年度不明	合計
延長	0	0	29	0	314	0	28	371

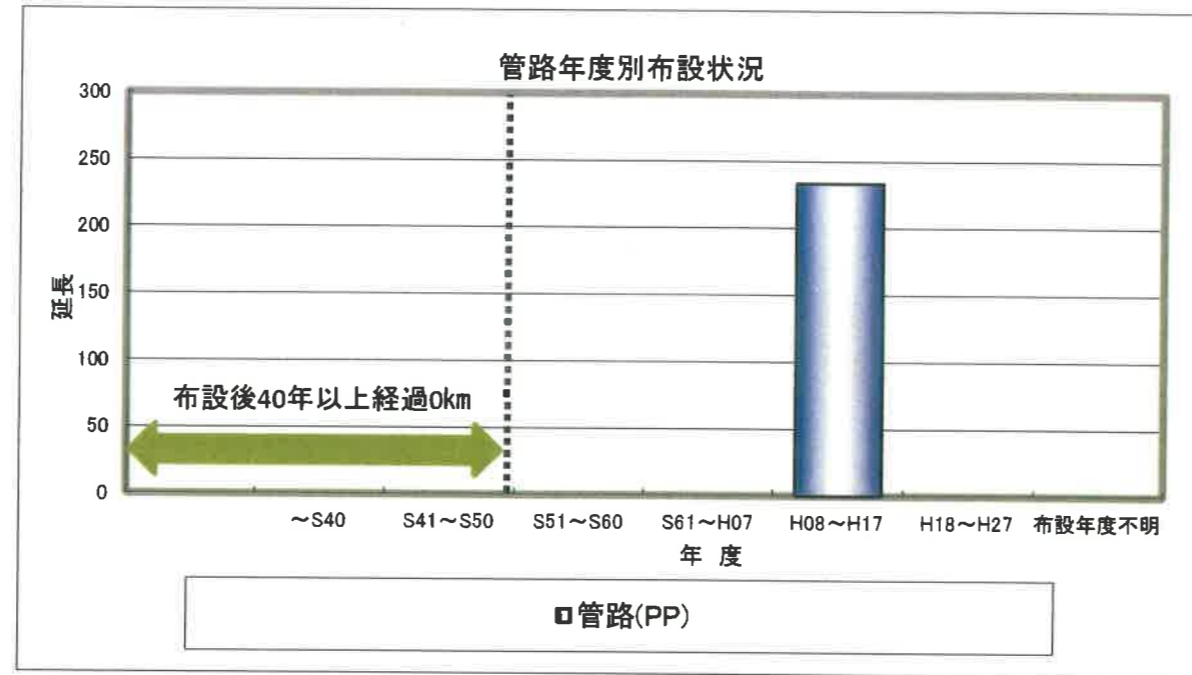


管路年度別布設状況(GP)

年度	~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	布設年度不明	合計
延長	0	0	0	0	0	0	35	35



管路年度別布設状況(PP)									
年度		~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	布設年度不明	合計
延長		0	0	0	0	234	0	0	234

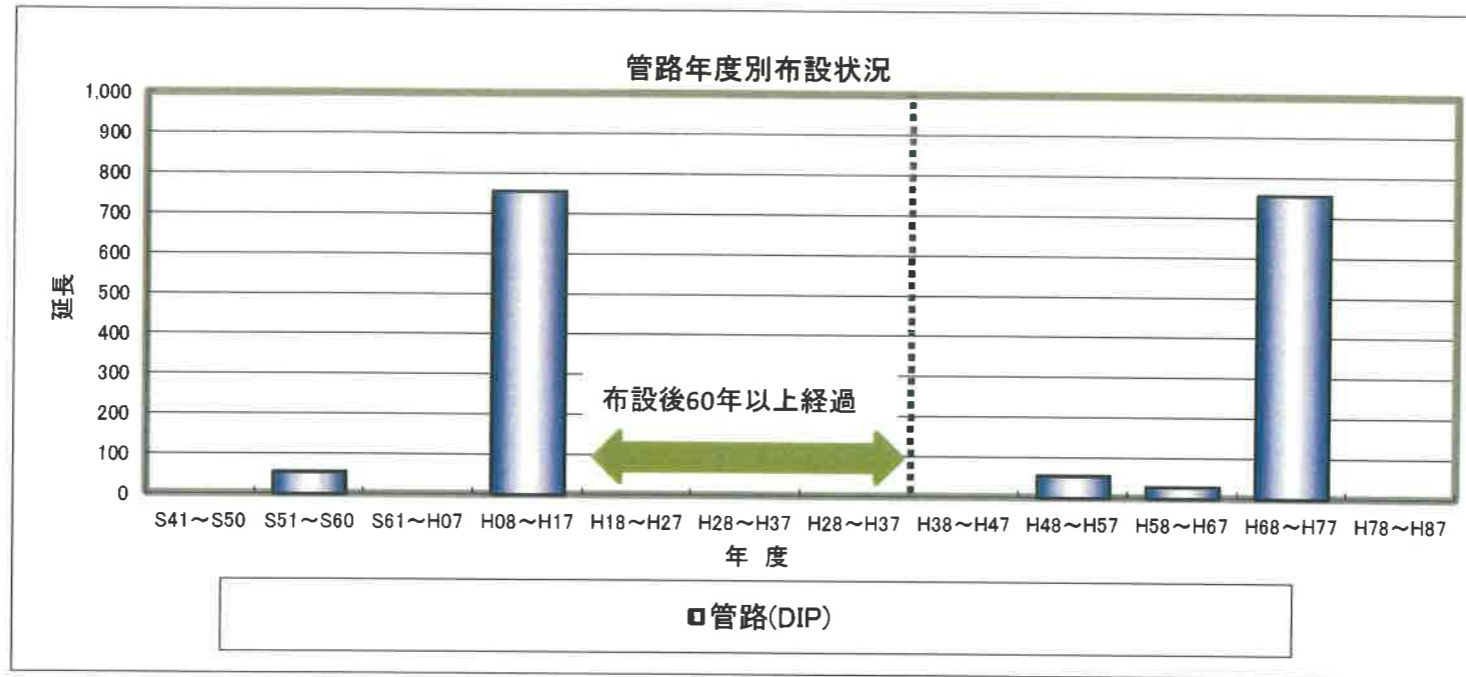


将来の見通し

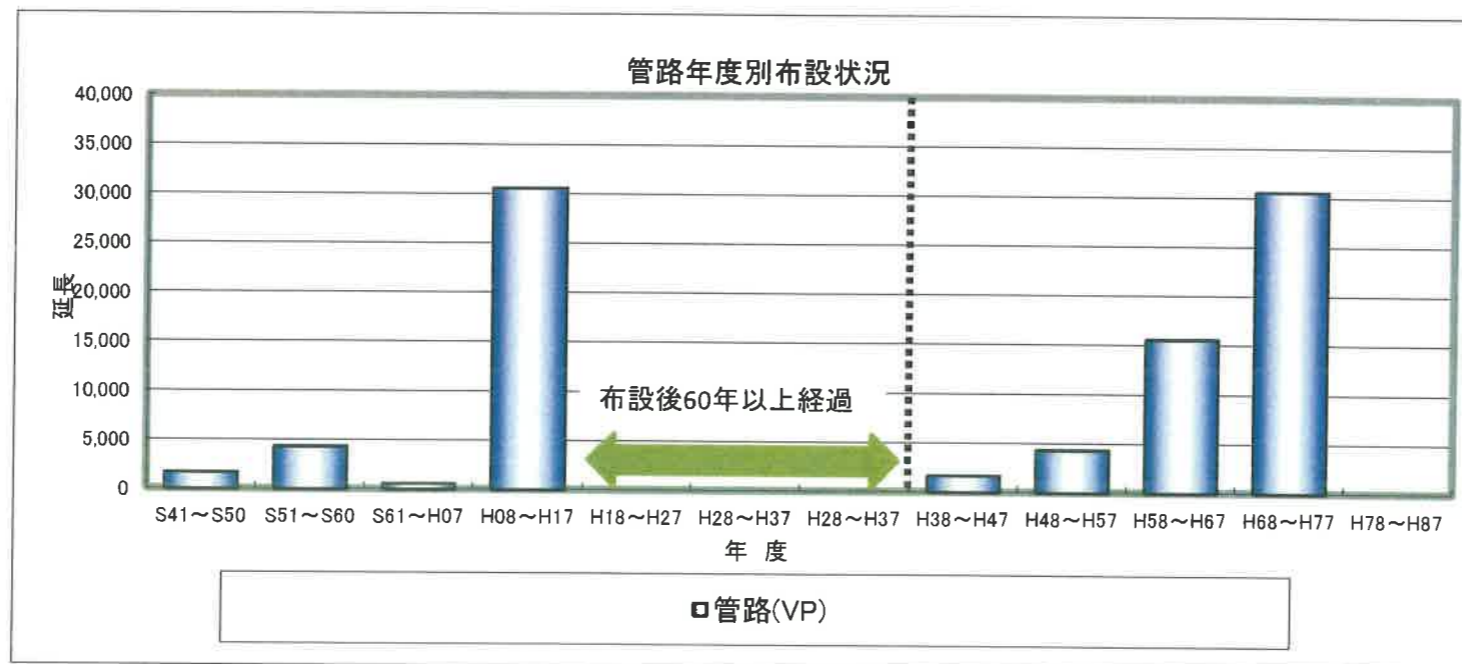
法定耐用年数は40年であるが、更新基準を法定耐用年数の1.5倍以下とすると、資産が老朽化する前に更新を行うこととなるため、健全資産のみで推移します。

よって更新基準は、重要度・優先度を考慮して、法定耐用年数の1.5倍=40年×1.5=60年とします。(S47・1972→60年後→H44・2032)

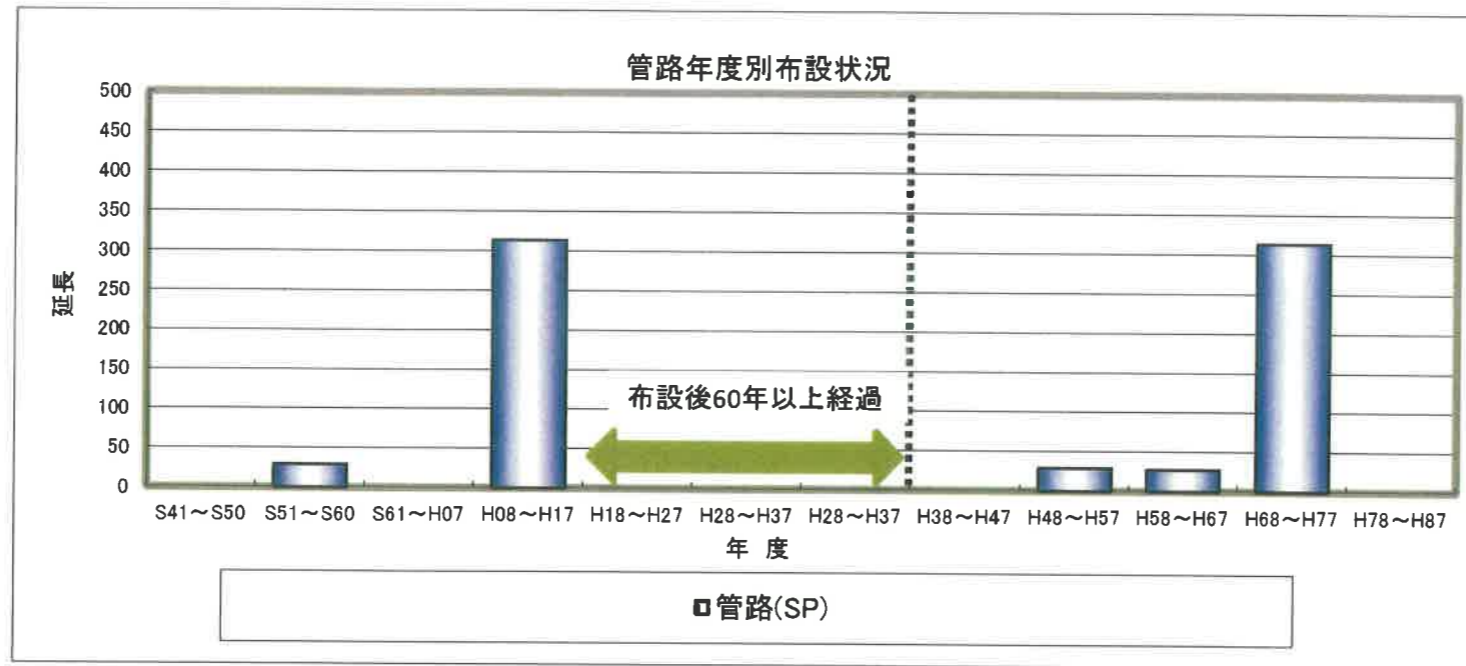
管路年度別布設状況(DIP)														
年度	～S40	S41～S50	S51～S60	S61～H07	H08～H17	H18～H27	H28～H37	H28～H37	H38～H47	H48～H57	H58～H67	H68～H77	H78～H87	合計
延長	0	0	55	0	756	0			0	55	29	756	0	840



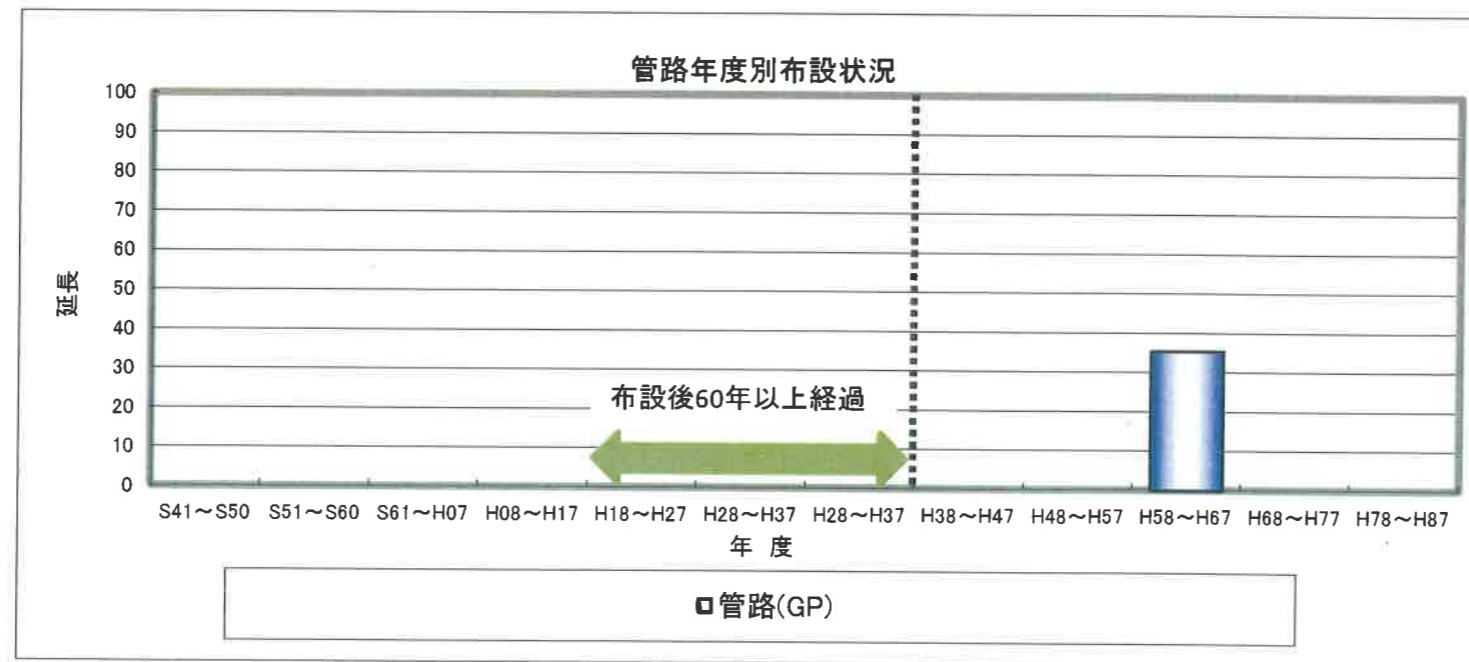
管路年度別布設状況(VP)														
年度	～S40	S41～S50	S51～S60	S61～H07	H08～H17	H18～H27	H28～H37	H28～H37	H38～H47	H48～H57	H58～H67	H68～H77	H78～H87	合計
延長	0	1,722	4,319	603	30,590	0			1,722	4,319	15,599	30,590	0	52,231



管路年度別布設状況(SP)														
年度	~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	H28~H37	H28~H37	H38~H47	H48~H57	H58~H67	H68~H77	H78~H87	合計
延長	0	0	29	0	314	0			0	29	28	314	0	371



管路年度別布設状況(GP)														
年度	~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	H28~H37	H28~H37	H38~H47	H48~H57	H58~H67	H68~H77	H78~H87	合計
延長	0	0	0	0	0	0			0	0	35	0	0	35



管路年度別布設状況(PP)														
年度	~S40	S41~S50	S51~S60	S61~H07	H08~H17	H18~H27	H28~H37	H28~H37	H38~H47	H48~H57	H58~H67	H68~H77	H78~H87	合計
延長	0	0	0	0	234	0			0	0	0	234	0	234

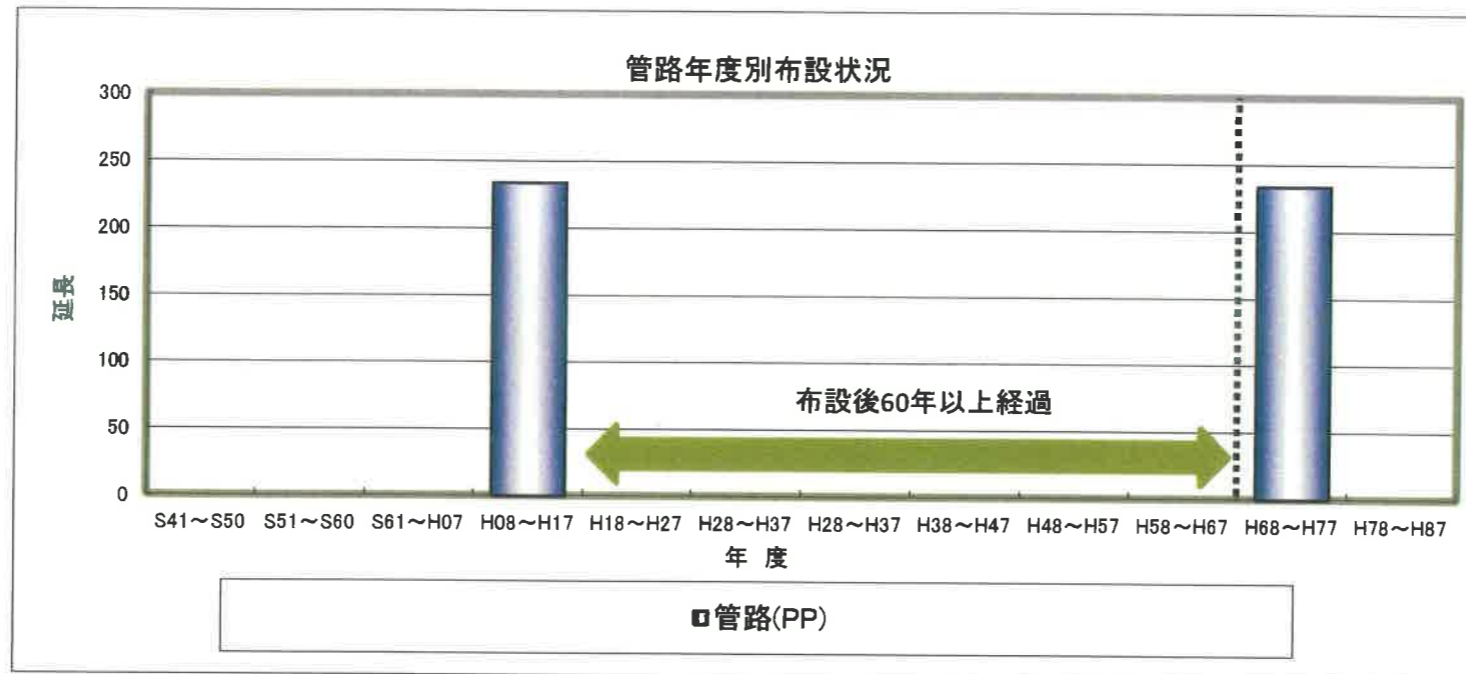
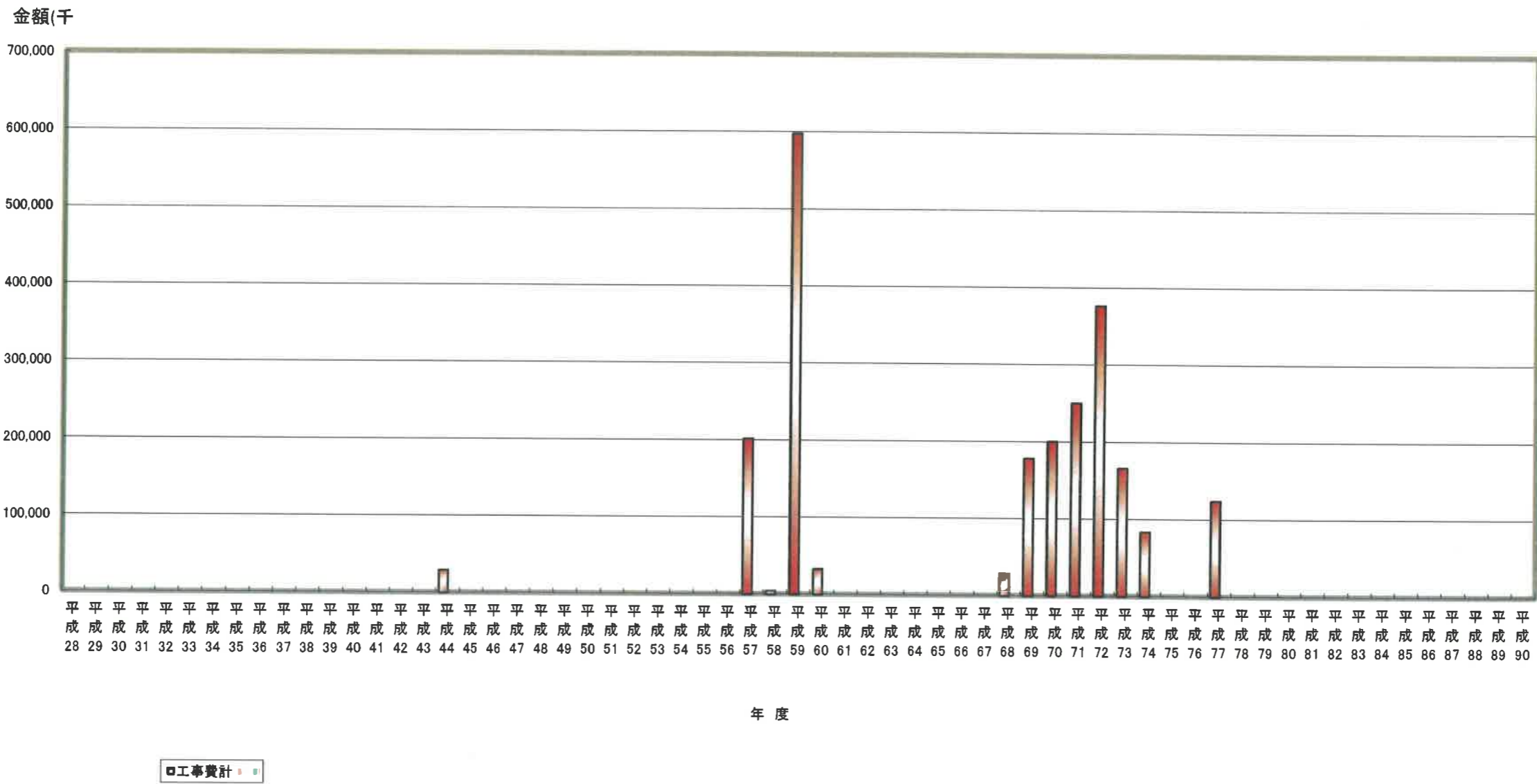


図6-1 概算事業費の将来見通し



事業計画表(22/4)

五戸町 簡易水道事業

区分	施設	名称	規模・形状	単位	数量	工事費 (千円)	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40	平成41	平成42		
簡易 水道	DIP	配水管布設替工事	1-01 DIP. GXφ 75	m	549	21,884																	
		配水管布設替工事	1-02 DIP. GXφ 100	m	0	0																	
		配水管布設替工事	1-03 DIP. GXφ 150	m	291	15,766																	
		配水管布設替工事	1-04 DIP. GXφ 200	m	0	0																	
		小計			840	37,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	VP	配水管布設替工事	3-01 PPφ 50	m	2,105	35,232																	
		配水管布設替工事	3-02 DIP. GXφ 75	m	28,130	1,120,713																	
		配水管布設替工事	3-03 DIP. GXφ 100	m	14,453	643,572																	
		配水管布設替工事	3-04 DIP. GXφ 150	m	7,237	392,519																	
		配水管布設替工事	3-05 DIP. GXφ 200	m	306	19,332																	
	小計			52,231	2,211,368	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	SP	配水管布設替工事	4-01 DIP. GXφ 75	m	175	6,984																	
		配水管布設替工事	4-02 DIP. GXφ 100	m	127	5,667																	
		配水管布設替工事	4-03 DIP. GXφ 150	m	68	3,702																	
		配水管布設替工事	4-04 DIP. GXφ 200	m	0	0																	
	小計			371	16,353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	GP	配水管布設替工事	5-01 DIP. GXφ 75	m	0	0																	
		配水管布設替工事	5-02 DIP. GXφ 100	m	35	1,578																	
		配水管布設替工事	5-03 DIP. GXφ 150	m	0	0																	
		配水管布設替工事	5-04 DIP. GXφ 200	m	0	0																	
	小計			35	1,578	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
PP	配水管布設替工事	6-01 PPφ 50	m	234	4,051																		
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 75	m	0	0																		
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 100	m	0	0																		
	配水管布設替工事	6-03 DIP. GXφ 150	m	0	0																		
小計			234	4,051	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計				53,710	2,271,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計				53,710	2,271,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
事費計				53,710	2,271,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

事業計画表(23/4)

五戸町 簡易水道事業

区分	施設	名称	規模・形状	平成43	平成44	平成45	平成46	平成47	平成48	平成49	平成50	平成51	平成52	平成53	平成54	平成55	平成56	平成57	平成58	平成59	平成60	
簡易水道	DIP	配水管布設替工事	1-01 DIP. GXφ 75													0	0	2,205	0	0	0	
		配水管布設替工事	1-02 DIP. GXφ 100														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	1-03 DIP. GXφ 150														0	0	0	1,572	0	0
		配水管布設替工事	1-04 DIP. GXφ 200														0	0	0	0	0	0
		小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,205	1,572	0	0
	VP	配水管布設替工事	3-01 PPφ 50		28,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-02 DIP. GXφ 75														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-03 DIP. GXφ 100														0	0	37,391	0	597,475	0
		配水管布設替工事	3-04 DIP. GXφ 150														0	0	103,863	0	0	0
		配水管布設替工事	3-05 DIP. GXφ 200														0	0	56,829	0	0	32,708
	小計			0	28,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	198,083	0	597,475	32,708
	SP	配水管布設替工事	4-01 DIP. GXφ 75														0	0	1,166	1,107	0	0
		配水管布設替工事	4-02 DIP. GXφ 100														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	4-03 DIP. GXφ 150														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	4-04 DIP. GXφ 200														0	0	0	0	0	0
	小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,166	1,107	0	0
	GP	配水管布設替工事	5-01 DIP. GXφ 75														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	5-02 DIP. GXφ 100														0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	5-03 DIP. GXφ 150														0	0	0	1,579	0	0
		配水管布設替工事	5-04 DIP. GXφ 200														0	0	0	0	0	0
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,579	0	0	
PP	配水管布設替工事	6-01 PPφ 50														0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 75														0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 100														0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-03 DIP. GXφ 150														0	0	0	0	0	0	
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計			0	28,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201,454	4,258	597,475	32,708
合計			0	28,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201,454	4,258	597,475	32,708
事費計			0	28,833	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201,454	4,258	597,475	32,708

事業計画表(24/4)

五戸町 簡易水道事業

区分	施設	名称	規模・形状	平成61	平成62	平成63	平成64	平成65	平成66	平成67	平成68	平成69	平成70	平成71	平成72	平成73	平成74	平成75	平成76	平成77	平成78				
簡易水道	DIP	配水管布設替工事	1-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,679	0			
		配水管布設替工事	1-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		配水管布設替工事	1-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	1-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計			0	0	0	0	0	0	0	0	14,194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,679	0	
	VP	配水管布設替工事	3-01 PPφ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	574	0	5,825	0	0	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	3-02 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	27,824	35,044	57,574	98,572	135,718	71,394	32,481	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	3-03 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,713	73,446	44,863	172,766	92,687	35,992	0	0	0	0	27,240	0	
		配水管布設替工事	3-04 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79,060	68,626	94,637	55,305	0	5,353	0	0	0	0	0	77,243	0
		配水管布設替工事	3-05 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,299	0	12,034	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計			0	0	0	0	0	0	0	27,824	164,115	200,220	250,106	369,615	164,081	73,827	0	0	0	0	104,484	0		
	SP	配水管布設替工事	4-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,369	0	3,343	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	4-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,774	3,893	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	4-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,191	0	2,511	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	4-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,560	1,774	9,747	0	0	0	0	0	0		
	GP	配水管布設替工事	5-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	5-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	5-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		配水管布設替工事	5-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
PP	配水管布設替工事	6-01 PPφ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,052	0	0	0	0	0	0	0	0		
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	配水管布設替工事	6-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,052	0	0	0	0	0	0	0	0			
計			0	0	0	0	0	0	0	0	27,824	178,309	200,220	250,106	376,227	165,855	83,574	0	0	0	124,162	0			
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	27,824	178,309	200,220	250,106	376,227	165,855	83,574	0	0	0	124,162	0			
事費計			0	0	0	0	0	0	0	0	27,824	178,309	200,220	250,106	376,227	165,855	83,574	0	0	0	124,162	0			

事業計画表(25/4)

五戸町 簡易水道事業

区分	施設	名称	規模・形状	平成79	平成80	平成81	平成82	平成83	平成84	平成85	平成86	平成87	平成88	平成89	平成90
簡易水道	DIP	配水管布設替工事	1-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	1-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	1-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	1-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	VP	配水管布設替工事	3-01 PPφ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-02 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-03 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-04 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	3-05 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SP	配水管布設替工事	4-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	4-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	4-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	4-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GP	配水管布設替工事	5-01 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	5-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	5-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		配水管布設替工事	5-04 DIP. GXφ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
PP	配水管布設替工事	6-01 PPφ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-02 DIP. GXφ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配水管布設替工事	6-03 DIP. GXφ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事費計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	